



陽北

【校訓】 聡く 強く 美しく

そして、陽北中生としての誇りをもつ

第4号

＜目指す生徒像＞

- 自ら考え、主体的に学ぶ生徒
- 活気に満ちた、たくましい生徒
- 心豊かで、思いやりのある生徒



校長だより 令和7年7月18日

宇都宮市立陽北中学校長 大場賢治

令和7年度もあっという間に4か月が過ぎました。いよいよ7月19日（土）から夏休みに入ります。生徒たちの生活が、学校からご家庭中心になります。夏休みには、普段の生活の中では経験できないことにチャレンジしたり、目標に向かって努力したりして、9月には、友だちや先生方にその経験や成長について話してくれることを期待しています。

また、計画的に毎日過ごすこと、継続して何かに取り組むことなど、有効に過ごしてほしいものです。44日間の長い夏休みをどのように過ごすかで、休み明けの学校生活が変わってきます。生活リズムを整え、健康で充実した夏休みになるようご家庭での指導をお願いします。

なお、一般的に夏は開放的になりやすいといわれています。ちょっとした気の緩みが交通事故や水難事故等、大きな事故につながることもありますので、生徒たち自身で身を守れるよう、気を配っていただければと思います。

今しかできない経験を（修学旅行）

7月2日（水）～4日（金）の3日間、3年生は奈良・京都方面に修学旅行に行ってきました。「奈良と京都においてやす 今しか（鹿）できない思い出を」のスローガンのもと、中学3年生の今しかできない（今だからこそできる）経験を十分に満喫したようです。1日目はクラス別行動です。大仏の大きさに驚き、鹿に追いかけられるハプニングもあったものの奈良の風情を感じました。2日目は、京都市内の班別行動です。各班の計画のもと、目的地を巡りました。班別行動を通して友人との絆が深まったようです。宿に戻ってきたときは、疲れた表情の中にも充実感があふれていました。3日目は午前中にクラス別行動を行いました。昼食会場に集まった時には、「あと帰るだけだね」とまだまだ修学旅行が続けばいいのにと感傷に早くも浸っている生徒もいました。昼食をしっかりと食べ、新幹線で宇都宮に帰ってきました。駅の改札を出て、お家の方の顔を見たときに生徒たちの表情はともうれしそうです。15（14）歳の感性で感じた奈良・京都は、一人一人の心の中にどのように刻まれたのでしょうか？思い出いっぱい、お土産いっぱいの修学旅行となりました。



祝 優勝！ PTAソフトボール大会



7月6日（日）に市P連ソフトボール大会の決勝トーナメントが行われました。準決勝では、昨年度、決勝戦で敗れた一条中を相手に見事にリベンジを果たしました。その勢いのまま決勝戦での横川中との対戦でも快勝し、優勝しました。選手の皆さんが、試合中、とても楽しそうであったのが印象的でした。



交通安全教室・SNS出前講座



7月10日に、交通安全教室を実施しました。宇都宮ブリッツェンの方を講師として、自転車の交通ルールや正しい乗り方、そして運転技術を体験的に学びました。

7月16日は、NTTドコモの方が講師となり、SNS出前講座を開きました。スマートフォンやSNSを使用していく中でのリスクを具体例をもとに学びました。

生徒たちは、交通安全教室もSNS出前講座も熱心に講師の話に聞き入り、自分事として考えました。真剣に自分事として考えることで、より深く学ぶことができたように感じます。危険は身近に潜んでいます。自分で考え、自ら危険を回避する力を身に付けてほしいと思います。そして、安全に生活できることを願います。



日々雑感(生徒会活動)

各種委員会が校内で積極的に活躍しています。最近では、生徒会発案の「フードバンク」と「ペットボトル持参」が始まりました。

「フードバンク」の参加は、会長の公約に給食委員会が賛同し、生徒会執行部と給食委員会が中心となり始まりました。これは、食生活の課題であるフードロスを考え、フードバンクに参加・協力しようというものです。

また、「ペットボトル持参」は、熱中症予防や水筒の中身補充のため、水筒だけでなくペットボトルも持参してよいことにしようというものです。生徒会執行部が発案し、実施に向けて考え、実現に至りました。

生徒たちは、自分たちを取りまく環境の中でよりよく生きるためにどうすればよいかを考え、実行に移しています。とても素晴らしいことです。これからの世の中を生きていくためにとても重要な力を自ら身に付けていっています。そのような生徒たちを、とても頼もしく思います。

